

# TOREK 自然農法 ホットニュース

第 125 号 2008.9.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

## 稲作生産者交流会 in 飯塚農園



8月30、31日、新潟小国町で、今年2回目の稲作交流会が行われ、飯塚さんの田を訪れました。一枚一枚、手入れなど大変だと思いますが、一生懸命に田を守っている飯塚さんの姿に感動し、また、グループや地元の方々の応援があるそうですが、それはやはり飯塚さんのお人柄なのだろうと思いました。

田んぼの見学の後は、各地域から集まった無施肥無農薬栽培の実施者との話し合いです。育苗、除草など、それ

ぞれに苦勞があり、何とか乗り越えようと奮闘している皆さんの生の声が聞けて、参考になり、励みにもなりました。「人間が食すべき安心安全な作物を作りたい」地球環境に配慮した農業を目指している「楽しく農業を営んで行きたい」。さまざまな視点からのアプローチがあるのだと学びました。

無施肥無農薬栽培の作物は、病気の人でも食べる「人を生かす」食べ物であり、無施肥無農薬の土によって育てられた、ということ考えると、自然には科学や人智を超えた力があるのだ、ということ強く感じましたし、農業は自然の中でしていくもので、人間も自然に抱かれて生かされている存在なのだ、と改めて思いました。(取材:宍戸)



## 自然農法始めました!

千葉県八千代市 柴田敬子



自然農法に関心を持ったのは20代前半。狭山の弥生会農園で取り組むとともに、体験学習に参加し、稲が倒伏している一般の田と、倒れない長野の堀さんの田の違いや、きれいで立派な千葉の荒木さんのサツマイモを見て、スゴイと感じたからです。また、自然農法の原理を勉強会で学ぶうちに、自然農法に携わっていきいたいと思うようになりました。

去年は体験学習のスタッフをしていて、自然農法の実施は誰かがやってくれると人任せだった自分に気づきました。また、長野の堀さんを5回訪ね、自然10年の田んぼとそれに感動している方々の姿にふれると、田んぼをやりたい! 長野へ1年勉強しに行こうか? とも思いました。でも現実は無理。それなら私のホームグラウンドはどこ? と模索するようになりました。

すると今年3月、母の畑へ種蒔きの手伝いに行くと、とても楽しい気分になりました。母の畑は10坪、花も植わっているため限られたスペースで、「空いている場所はないかな?」と母に言うと、地主さんに聞いてみたらとのこと。お伺いすると、有り難くも18坪の畑をお借りできたのです。

キュウリ、ピーマン、シシトウ、トウモロコシ、その他いろいろと挑戦しています。収穫したダイコンを友人にあげると、「普段あまり野菜を食べない2オになる甥が、ダイコンを見て手づかみでムシャムシャ食べた」という話を聞き、とてもうれしかったです。父もミニトマトは市販のものより何十倍もうまいと、会社の友達に分けていました。近くの篤農家も自然農法は最先端だと言われています。

畑を借りて、自分で作付けして収穫できる喜びもあるし、美味しい、楽しい。また、自然の野菜を前にして家族の会話も増え、心がとても豊かになったように感じます。自然農法の野菜は人の性質を変えると学びましたが、このことかなと感動しています。



## 自然の作物のパワーを実感

千葉県 川口克子



平成15年、会社の健康診断で、貧血の疑いがあると言われ再検査になりました。健康な方のヘモグロビン数値は11~12とのことですが、私はその半分6.5と非常に低く、医師から鉄剤を3ヵ月間飲むように勧められました。私の貧血の原因は子宮筋腫による出血でしたが、薬は絶対に使いたくなかったので、食事で改善していこうと決心し、医師にその旨を伝えたところ、「それが一番良いことですが、一番難しいことで、なかなかできないんですよ」と言われました。

私はさっそく、無施肥無農薬栽培の自然米と野菜を分けていただき、毎日食べるようにしました。それまで食欲がなく、片手の中に入るくらいの小さなおにぎり1個しか食べられなかったのが、驚くことに自然米や野菜はスーッとお腹におさまり、とてもおいしく、食欲も出てきました。周囲の方からも「顔色もよくなり、元気になったね」と言っていただけのように、自分自身も徐々に体力がついてきていると実感できるようになりました。

ところが、2ヵ月くらい過ぎたころ、少し疲れを感じ始めました。それというのも、自然米がなくなってしまい、市販のお米や実家が作っているお米を食べていたのです。こんなにもはっきりと体調に違いが出てくると思ってもみませんでした。主食であるお米の大切さを痛感し、ふたたび自然米に切り替え、他の食べ物もできるだけ自然のものを心がけています。貧血を乗り越えられたのは、無施肥無農薬栽培の食物の恵みの賜と大変感謝しています。

## 五三会親子農園

今年の夏(8月24日)も、恒例の五三会親子農園に行ってきました。年々、五三会の稲もそうですけど、子供たちも大きくなってますね!

今回は参加したお母さんの感想です。

Sさん「子供たちは最初、行きたくないと言っていたのですが、参加でき、自然の稲にふれて、やっぱり行って良かったです。コンバインにも乗せてもらい、目をキラキラさせていました!」

Nさん「雨でしたが着いたら晴れ、不思議でした。家族で田植えした稲が育っていて喜びました。有肥の稲は雨で倒れていて、自然農法の稲との違いを子供たちと見る事ができました。ザリガニもいっぱい取れました!」



## お知らせ



自然農法頒布会 10月16日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00  
10月26日(日) 東中野会場 10:00~15:00

自然農法農産展 11月3日(祝) 展示 / 11月16日(日) 販売

自然農法勉強会 11月26日(水) 昼の部 10:30~ 夜の部 19:00~ (別院講堂)

## 無施肥無農薬栽培物の販売予定

10月3日 於:伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

きじま平自然農産: シュンギク、納豆、青豆、豆菓子、きのこめし

市川生産グループ: 煎茶

飯塚農園: タマネギ、ニンジン

長柄山自然農園: 卵、コマツナ

富田善嗣さん: 白米(2.8kg 4,000円他)

中島農園: カボチャ、ジャガイモ

ジョリフィーユ: プリン、マドレーヌ、イチゴロールケーキ、モカロールケーキ



お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: [naturefarming@torek.jp](mailto:naturefarming@torek.jp)

T O R E K活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>